



平成30年
3月号



発行 公益財団法人
奈良市生涯学習財団
田原公民館
奈良市茗荷町1078-1
TEL 81-0888
発行責任者 泉森 由貴

「おせっかいの美学」

館長 泉森 由貴

平昌冬季五輪が白熱していますが、こちらは蛇口をひねっても水が出ない日が続いています。杣ノ川の国道沿いにある水車が凍って氷瀑のようになっていました。流れる水が凍るといのはよっぽどのことで、白砂川でも流れが穏やかなところでは薄氷が張っているのを見ました。今年は春がいつもより待ち遠しい田原です。

最近、とある著書に「電話をしてくる人とは仕事をしない」と謳ったものがありました。電話は相手の時間を奪う最たるもの。電話が強制的に仕事を中断させ、リズムを狂わせてしまう。百害あって一利なしだということです。連絡はメールやFAXで充分で、電話は必要の無いものと切り捨てられていました。分刻みで仕事をしているものには非常に説得力のある文面でしたが、私はどこか寂しいな空気を感しました。

ふと一月末でその役割を終え、電柱から配線を次々に撤去している有線放送のことが頭をよぎりました。朝夕6時。そして正午半。農作業の休み時間に合わせて流される情報は、相手の都合などを考えない一方的なものでしたが、聞く側はそれで時刻を感じ、ご近所の話題にしたものです。

何からも束縛されない完全な自由の世界では人は生きにくいものです。ネットに繋

がったオンデマンドのテレビの時代でも、新聞のテレビ欄を確認して観たい時間に合わせて行動することにも心地よさを感じているのかもしれない。



そこで、見直したいのが「おせっかい」という考え方です。言葉の意味は「出しゃばって世話を焼くこと、人のことに立ち入ること」とあります。電話の件なんかはまさにそれに当てはまるものです。でも、そんなことが気分転換になることもあります。だらだらとした会議や進まない仕事も電話の一本で折り目がつくものです。

「あんな、こんなこと聞いてるか」そんな切り出しで近所同士のコミュニケーションを図ってみませんか。情報は内容ももちろんですが、誰から聞くかで気持ちも変わるものです。安全、安心のまち田原。人ごとではなく、我がごととして物事を捉えるからこそ焼けるおせっかい。皆さんも始めてみませんか。

賑やかな閉講式でした 29年度「老春塾」が終了

5月に開講した、老春塾。29年度も全7回の講座をすべて終了いたしました。最終回はマリンバの演奏者、樽井美咲さんと四元美也香さんの新春コンサートで締めくくりました。マリンバとは打楽器、木琴のひとつです。軽自動車で運んできたとは思えない迫力の本体はグランドピアノのような立派なたたずまいです。見た目の迫力とは逆に奏でられる音は繊細そのもの。マレットと呼ばれる道具で弾かれる音は木製ならではの優しく柔らかい音色です。曲はクラシックを中心に進み、キラキラ星や中島みゆきの糸など馴染みの曲へと変わります。脳トレの一種、リズム体験の「お茶ケチャ」では、口ずさみによる遊びを体験しました。人につられて思わず笑顔になります。



カホンのやさしい音色が響きます



マリンバの連弾 生音は大迫力です



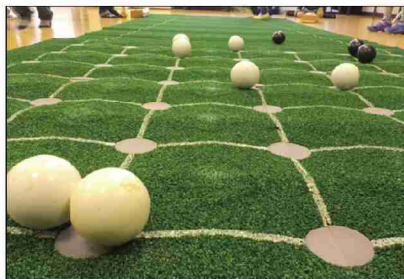
素晴らしい演奏に聴き惚れます



向き合った演奏。左右が逆になります



大人チームとキッズチームの一騎打ちです



微妙な力加減で勝敗が決まります

田原スポーツ協会と共催で 囲碁ボール大会を開催しました

お二人のトークも楽しく、終始笑顔の絶えない時間となりました。コンサート終了後は閉講式。一年間の振り返りをし、水野塾長より皆さんへ終了のご挨拶がありました。感謝の言葉が述べられ、塾生の皆さんよりねぎらいの拍手が贈られました。

老春塾はもう次年度の準備を始めています。30年度も皆さんの生活に即した魅力ある事業を目指します。引き続きよろしくお願ひします。

2月のTAWARAキッズは囲碁ボール。田原スポーツ協会と共催で一般参加の方と一緒に楽しみました。キッズは5チーム。大人は3チームに分かれ、総当たりで対戦しました。白と黒のボールをゲートボールのようなスティックで打ち、穴にたくさん収まったほうが勝ちになります。

3つ以上並ぶと更に高得点。味方や相手のボールを弾いて助けたり邪魔したり。

勝率一位は大人女性チーム。僅差で決まった優勝でした。寒さから運動から遠ざかりがちなこの季節。来年はキッズチームの優勝もみてみたいものです。



取材：泉森 由貴
写真：吹ノ戸由実子

OPENから15年目を迎える中之庄町の竹西農園「遊茶庵」を訪ねました。

何年経っても色褪せないデザインの遊茶庵で竹西多香子さんにお会いしました。薪ストーブの火が暖かい空間を作り出しています。▼以前はやま里博物館の取材で伺いました。3年ぶりですね。●もうそんなになりますか。

▼確か屋号は煎茶の元家からいただいたとか。●そうです。美風流家元の茶会「遊茶楽茶」にヒントをもらいました。田原に観光に来られる方に闘茶会などを体験していただき、学びを踏まえたお茶を楽しんで貰おうと思っています。▼なるほど。お茶に合うお食事はどんなものをされていますか。●無農薬の自家製野菜を中心に、やま里市場で仕入れた季節の野菜を使ったお料理です。和洋問わず提供しています。広報活動も兼ねて二ヶ月に一度は今も勉強に出かけていますよ。▼どんなお客さんが来られますか。●奈良市内、県内、大阪からが主ですね。口コミやホームページ、Instagramなどで情報を得ているようです。ありがたいことに雑誌にも時々掲載していただいています。▼普段は喫茶のみの営業ですか。●はい。お食事は予約制としています。平日は4人以上でお任せコース一人前2千500円です。▼お休みはありますか。●暖かくなる3月～5月くらいにかけてたくさんのお客さんに来ていただいています。5月の連休明けから6月末まではお休みさせていただきます。

らっています。お茶のシーズンは、新芽の収穫が優先で茶畑での作業が忙しいんです。▼竹西さんの他にスタッフは。●お店は近所の友人や大学生に、農作業は畑ヘルパー倶楽部の皆さんにお手伝いしてもらっています。一緒に仕事をする事で密な関係を築くことができるのがおもしろいですね。▼田原でお気に入りの場所は。●うちの茶山です。特に収穫の時期がいいですね。光り輝く新芽の色。田原は田植えが早く、茶畑から望む水田が光を反射してとてもキレイです。木陰に入ると吹き抜ける風の心地よさも好きです。▼至福のひとつですね。では最後にお店の展望、これからの田原について教えてください。●はい。田原のような農村は散策してこそ良さがわかるものです。ヨーロッパの農村のようなゆったりした時間。そこで生まれるスローフード。40代初めにここをそんな場所にしたと考えた理想が今の遊茶庵です。景色、風、空気の中でお茶を飲んで貰いたい。その気持ちは今も変わらずずっと持っています。父が幼いころに自宅そばの小さな茶小屋に手もみ茶のプロ、茶師の方々が来ている話をふと思ひ出します。酒蔵に杜氏が居るようにお茶の世界には茶師やほいろ師がいらっしゃいます。田原の「かせや庄七さん」が朝ドラにでも取り上げられたら嬉しいなと常々思っています。▼夢が広がりますね。竹西さん自ら素敵なスローライフを送っていらっしゃることを感じました。本日はありがとうございました。



地域情報受信するためメールアドレスを登録してください。

田原地区の各種情報は有線放送をメインにお届けしておりましたが、すでにお知らせしているとおりの、一月末で終了し、撤去作業にかかっています。

つきましては、田原地区自治連合会主導で昨年度より田原地区情報配信システム「INFOメール」を開発して、地区の皆さんにメールアドレスの登録を促しています。

このメールは地域の催しや注意喚起、訃報など、耳で聞いただけでは聞き逃してしまう恐れのある情報を素早く正確にお伝えするものです。

情報は基本的には公的な催し、イベントと訃報、地区の災害情報などをお伝えしています。公民館からのご案内もメールで発信いたします。

登録はパソコンメール、従来型携帯電話（ガラケー）、スマートフォンなどeメールが受信できる機器なら何でもできます。なお、メールの受信制限をかけている場合は、tawara@mail.jpからのドメイン受信許可設定をしてください。

もちろん、田原地区在住以外の方も登録出来ます。現在登録者は500を超えています。



<http://www.tawara-mail.jp/cel/>

3月の公民館行事とその他のお知らせ

4日（日）里山の冬あそび 10：00～15：00
10日（土）第10回 TAWARAキッズ 9：30～13：00
11日（日）おんだ祭 今井堂天満神社於 10：00～
15日（木）田原小中学校卒業式 9：10～
21日（水）春分の日 休館日

29年度が終了する3月になりました。地域の皆様には公民館事業に熱いご声援をいただき、無事遂行することができました。30年度もよろしくお願いいたします。



田原公民館の自主グループ紹介 23グループ

あっと！田原みつけ隊	生け花サークル	彩り会	アンダンテ
ここいろ	三美体操サークル	山丹丹	八重の会
竜乃仔会	田原詩吟クラブ	田原太鼓・風雅	田原俳句塾
田原民謡教室	田原明誠会	ぷるるん会	ミラクルラビッツ
やまゆり	ゆめキルト	ヨガ健康教室	そば作りの会
AtoMs	田原畑の会	白あずきの会	

※グループの詳細は奈良市生涯学習財団ホームで御覧いただけます。